



南アルプス市立 白根飯野小学校 学校だより
学校教育目標
「郷土を愛し、たくましく生きぬく子ども」

5月号 ①
令和2年5月29日
編集 校長 岡こすえ

www.iino.m-alps.ed.jp/ 白根飯野小学校学校ホームページにも毎月掲載していきます

新たな学校生活スタイル！ 今年度がスタート！！

昨年度末の全国一斉休校の要請から約3か月を経て、学校が再開しました。保護者の皆様方をはじめ、地域の多くの方々にご心配をおかけしましたが、やっと始業式を迎えられたことに心より感謝申し上げます。

初日の朝、3年生、4年生、5年生が利用する東側玄関に立っていると、みんな元気に朝のあいさつをしてくれました。学年が1つ上がり、とても張り切っている様子が伝わってきました。「他の学年はどうか」と、いつもより早めに教室に行ってみました。

1年生では、司書や支援員の先生による本の読み聞かせを、みんな静かに集中して聴いていました。2階に上がって2年生の教室をのぞいてみると、一日の予定などの担任の先生のお話を背筋を伸ばしてしっかり聞くことができ、お兄さん、お姉さんになったなど安心しました。そして、1年生の時よりも「おはようございます」と、明るく元気な声であいさつしてくれたので、さらにうれしい気持ちになりました。

3年生、4年生は、多人数学級の1クラスです。ワイワイ騒ぐ児童もなく、真剣な表情で担任の先生のお話を集中して聴いていました。5、6年生の教室では、学級役員や委員会など、組織づくりをしていますが、自分たちで話し合う場面も見かけ、「さすが上級生」といった態度に感心しました。

朝のわずかな時間ではありましたが、体も心もとても成長し、これからの学校生活もきっと頑張ってくれるだろうという期待が高まりました。その後は、新任式と始業式をグランドで行い、そのまま下校という形をとりました。全校児童の元気な姿に支えられ、無事に1日目を終えることができました。



*5.24 入学式 感染拡大を防ぐため保護者は1名のみとさせていただきました。また、在校生の出席を取りやめ、式典の時間も例年より30分短縮して行いました。

42名の新入生のみなさん、入学おめでとうございます。～迎える言葉～

新緑の香が漂い、初夏の訪れを感じる爽やかな季節になりました。42名の1年生の皆さん、入学おめでとうございます。先週の木曜日、先生方と一緒に6年生のお兄さん、お姉さんたちもこの会場を作ってくれました。久しぶりにクラスの仲間に会えてみんなとてもうれしそうでした。少しでも手が空くと、「何かお手伝いすることはありますか。」と一生懸命に働いてくれました。その仕事ぶりから、この6年生なら1年生のことを大切に、学校のリーダーとして頑張ってくれると思いました。

2年生から5年生までのお兄さんやお姉さんたちも、まだ学校が始まっていないので、今日は参加することができませんが、みんなとても素直で優しくてよい人たちばかりです。学校でわからないことや困ったことがあったら、何でもきいてくださいね。いつでも助けられるので安心してください。そして、先生方のお話をよく聞いて、ここにいるクラスの仲間とたくさん勉強できることを楽しみにしててください。全校みんなですぐ元気で楽しい学校にしていきたいと思います。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠にありがとうございます。心からお祝いと歓迎を申し上げます。皆様におかれましては、これまでも在宅ワークに加え、家事や育児など大変な日々を過ごされてきたことと拝察いたします。そのような状況にもかかわらず、学習課題やお便りの配付のためにご来校いただいたり、分散登校の際も見守り活動をしていただくなど多大なご協力に対し、改めて感謝申し上げます。

小学校生活は、子どもたちが今まで経験したことがないことの連続です。保育所や幼稚園、家庭で過ごしてきた中だけではわからなかった、お子様の個性や特長が見えてくる場でもあります。時にはお友達とけんかをしたり、小さな失敗をしたりすることもたくさんあると思います。しかし、それは心の成長には必要なことで、あたりまえのことです。「学校」という新しい社会生活に慣れるには、とても時間もかかります。私たち教職員もまた、保護者の皆様に寄り添い、一人ひとりの個性やご家族の思いを大切にしながら、学級担任をはじめ、教職員全員で、お子様の教育に真摯に向き合っていくことをお誓い致します。

さて、長い休業期間が解除され、待ちに待った小学校生活がやっと始まります。とはいえ、授業時間数の確保のために、夏休みを短縮したり、三密を避けての新しい学校生活のために授業内容を工夫し、行事を精選するなど、新しい学習指導要領に則って編成した教育課程を大きく変更しなくてはなりません。

しかし、これらのことは児童にとって悪いことばかりではありません。「自分の体は自分で守る。」ということを身をもって経験することができ、「自分は一人で生活しているのではない。集団の中の大切な一人である。」という自覚が生まれ、さらには、「人のために頑張りたい。」という自己有用感を高めることにつながります。

学校、家庭、地域が新たな価値観を持ち、知恵を出し合い、今こそそれぞれの役割を果たすことが求められています。私は校長として、この危機を新しい学びのチャンスに変え、「学校は楽しいところ」という大原則が保障できるよう精一杯努めてまいります。

結びに、本日も臨席していただくことがかなわなかった保護者の方、地域の方々や教育関係者の皆様方のご教示や、ご示唆をいただきながら、子どもたちの笑顔に満ちた白根飯野小学校がさらに発展するために努力することをお約束し、新入生を迎える言葉とさせていただきます。

(令和2年 5月24日 校長 岡 こずえ)